


1 単元名 想像を広げながら読もう ～スーホの白い馬～






2 本時のねらい

白馬をつれてきたスーホの様子や気持ちを、言葉をもとに想像を広げながら読むことができる。

3 本時における学ぶ楽しさ

言葉をもとに、スーホや白馬の様子や気持ちを想像するとともに、白馬のことを思う  を見つけ、交流する楽しさ

4 展開

時	学習活動と子どもの姿	学ぶ楽しさを味わうための手だて
5	<p>1. 前時のふり返しをし 本時の課題をつかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーホは、おばあさんとふたりきりでくらししていたよ。 ・おばあさんを助けて、大人に負けないくらい、よく働いていたよ。 <p><白馬をつれてきたスーホのようすや気持ちを想像しよう></p>	
15	<p>2. 生まれたばかりの白馬をつれてきた、スーホの様子や気持ちを想像する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生まれたばかりの子馬が、地面にたおれてもがいていたから、心配でつれてきたんだよ。 ・あたりを見ても、持ち主らしい人も、おかあさん馬も見えないから、ほっておいたらかわいそうだと思ったんだよ。 ・夜になっておおかみが来たら、食べられてしまうからつれてきたんだよ。 <p>○どうしてスーホはにこにこしているのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬を助けられたから、うれしいんだよ。 ・友達ができたみたいで、うれしいのかな？ ・スーホは、おばあさんとふたりきりだったよ。白馬もおかあさん馬がいなかったよ。スーホは家族（兄弟）が増えたみたいでうれしいんだと思うよ。 ・うれしいスーホは、心をこめて白馬を世話しているよ。 	<p>(2)かかわりを通して言葉を拡げる</p> <p>「スーホはどのくらい、持ち主やおかあさん馬を探していたのかな」と問いかけることで、もう暗くなっていることに気づかせ、白馬のために長い間探していたことに気づくことができるようにする。</p>
15	<p>3.  が一番伝わってきたところを交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーホが、白馬のために飼い主やお母さん馬を一生懸命さがしているところが、ぼくの一番だよ。 ・白馬のことを心配して、つれてきたところが、わたしの一番だよ。 ・毎日心をこめて、白馬の世話をしているところが一番だよ。 	<p>(2)かかわりを通して言葉を拡げる</p> <p> が一番伝わってきたところをそれぞれが選び、交流することで、互いの読みを拡げることができるようにする。</p>
10	<p>4. 本時をまとめ 次時のめあてをもつ</p>	
<p>白馬をつれてきた場面から、白馬のことを心配するスーホの  や、家族がふえてうれしいスーホの  が伝わってきたよ。友達も自分とは違うところで  を見つけていたよ。</p>		